

令和3年度修了式のあいさつ

今日は、学校の1年間が終わる区切りの日です。今日のような日のことを「節目の日」と言います。18日の卒業式では6年生がこの「節目の日」を迎えましたが、別れの言葉と決意を述べ、上狛小学校を卒業していきました。

これからだんだん暖かくなると、地面からタケノコが生えてきます。タケノコが大きくなると竹になりますが、竹のちょっと膨らんだ輪っかのようなところを「節」と言い、その部分を「節目」と呼びます。強い風が吹いて大きな木が折れても、竹が折れないのは、この「節」があるからです。

1年生のみなさんにとっては、今日が1年生と2年生の節目の日です。同じように2年生、3年生、4年生、5年生のみなさんにとっても、今日が次の学年への節目の日となります。

わたしたちの祖先は、こういった節目の日をつくることで、毎日の生活を振り返り、次の節目の日を迎えるまでのエネルギーとしてきました。

学校の時間の流れでは明日から春休みとなりますが、この節目の時期に1年間を振り返り、「自分は何ができるようになったのか」「うまくいかなかったこと、もう少しがんばれたことは何だったのか」を『あゆみ』を見ながら、もう一度頭の中で整理し、心で考えてみましょう。それができたら「新しい目標」をつくってみてください。

そうすると、竹がぐんぐん大きく育っていくように、みなさんの頭も心も、そして体も大きくしっかり成長していきますよ。

先生もこの1年間を振り返ってみました。体育参観や持久走大会などの行事、ふだんの授業やフィールドワークなど学校生活のいろいろな場面で、みなさんの一生懸命がんばる姿がたくさん見られました。これは素晴らしいことだと思います。

しかし、こうやってみなさんが安心してがんばれたのは、毎日見守り、学校へ送り出してくれる家族や地域の方のおかげでもあります。そういった人たちへの感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

コロナウイルスに関しては、まだまだ安心できません。明日からの春休み、くれぐれも健康に気を付け、安全に過ごすよう、十分注意して毎日を過ごしてください。

そして4月、令和4年度の始業式には、全員が元気に登校してくれることを願っています。

令和4年3月24日

木津川市立上狛小学校 校長 古川 覚

(修了式式辞)